

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.7
Q1 室内環境			0.40		-			2.8
1 音環境		2.6	0.15	2.2	1.00			2.4
1.1 騒音		3.0	0.40	3.0	0.40			
1.2 遮音		3.0	0.40	2.0	0.40			
1 開口部遮音性能		3.0	0.40	3.0	0.30			
2 界壁遮音性能		3.0	0.60	1.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	1.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	3.0	0.20			
1.3 吸音		1.0	0.20	1.0	0.20			
2 温熱環境		1.6	0.35	2.0	1.00			1.7
2.1 室温制御		2.2	0.50	3.0	0.50			
1 室温		2.0	0.38	3.0	0.57			
2 外皮性能		3.0	0.25	3.0	0.43			
3 ゾーン別制御性		2.0	0.38		-			
2.2 湿度制御		1.0	0.20	1.0	0.20			
2.3 空調方式		1.0	0.30	1.0	0.30			
3 光・視環境		3.3	0.25	4.1	1.00			3.5
3.1 昼光利用		4.2	0.30	4.2	0.30			
1 昼光率	<共用部分>昼光率3.22% <住居部分>昼光率2.60%	5.0	0.60	5.0	0.60			
2 方位別開口			-		-			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.40			
3.2 グレア対策		3.0	0.30	4.0	0.30			
1 昼光制御	<住居部分>カーテン及び庇にて昼光を制御している。	3.0	1.00	4.0	1.00			
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15			
3.4 照明制御	<住居部分>三路スイッチ採用によりベッド毎に点灯・消灯の制御が可能。	3.0	0.25	5.0	0.25			
4 空気質環境		3.9	0.25	3.8	1.00			3.8
4.1 発生源対策		4.0	0.50	4.0	0.63			
1 化学汚染物質	告示対象外の建材およびJIS・JAS規格のF☆☆☆☆の建築材料をほぼ全面的に採用している。	4.0	1.00	4.0	1.00			
2 アスベスト対策			-		-			
4.2 換気		3.0	0.30	3.6	0.38			
1 換気量	建築基準法および建築物衛生法を満たす換気量の1.4倍の換気量を確保	5.0	0.50	5.0	0.33			
2 自然換気性能	<住居部分>自然換気有効開口面積が居室床面積の1/10以上		-	5.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.50	1.0	0.33			
4.3 運用管理		5.0	0.20		-			
1 CO ₂ の監視			-		-			
2 喫煙の制御	建物全体の禁煙が確認されていて、喫煙所は設置しない	5.0	1.00		-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			2.8
1 機能性		2.4	0.40	3.8	1.00			2.7
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	5.0	0.60			
1 広さ・収納性	<住居部分>個室10㎡/床以上		-	5.0	1.00			
2 高度情報通信設備対応			-		-			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00		-			
1.2 心理性・快適性		1.0	0.30	2.0	0.40			
1 広さ感・景観			-	3.0	0.50			
2 リフレッシュスペース			-		-			
3 内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50			
1.3 維持管理		3.0	0.30		-			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50		-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50		-			
3 衛生管理業務			-		-			
2 耐用性・信頼性		3.1	0.30	-	-			3.1
2.1 耐震・免震		3.0	0.50		-			
1 耐震性		3.0	0.80		-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20		-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.5	0.30		-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20		-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20		-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	居室:床ビニルシート、壁ビニルクロス(PBt12.5)、天井せつこうボード(t12.5)	5.0	0.10		-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	屋外露出ダクトはガルバリウムダクトを採用している。	4.0	0.10		-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水VLP(B)、汚水排水VP(B)、雑排水VP(B)、Eは不使用。	5.0	0.20		-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		-			

2.4 信頼性	1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備	節水器具の採用、井水利用、非常用蛇口設置。	3.0	0.20	-	-	
	3	電気設備		4.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
	5	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備		2.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性				2.6	0.30	2.4	1.00	2.5
3.1 空間のゆとり	空間のゆとり			1.8	0.30	1.8	0.50	
	1	階高のゆとり		1.0	0.60	1.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ			3.0	0.40	3.0	0.40	
				3.0	0.30	3.0	0.50	
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性				3.0	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	
	給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	
	電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
	通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
	設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	
	バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出				2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮				3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
	敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.7
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPI _m =0.840	4.0	0.20	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			BEI _m 非住宅 0.76 住宅(専有部) -	4.0	0.50	-	-	4.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)			BEI _m =0.760、LED照明設備を採用	4.0	1.00	-	-	
集合住宅の評価(3c)				-	-	-	-	
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価				3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング			3.0	0.50	-	-	
	運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価				-	-	-	-	
4.1	モニタリング			-	-	-	-	
	運用管理体制			-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.5
1 水資源保護				3.8	0.20	-	-	3.8
1.1	節水		節水コマ・自動水栓に加えて、節水型便器を採用	4.0	0.40	-	-	
	雨水利用・雑排水等の利用			3.7	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		井水を屋外散水に使用している。	4.0	0.70	-	-	
	雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.3	0.60	-	-	3.3
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.11	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.22	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	3.0	0.22	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			OAフロア(床)	3.0	0.22	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			躯体+軽鉄+仕上材のデテール及びGL工法・OAフロアを採用。	5.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.7	0.20	-	-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				4.0	0.70	-	-	
1	消火剤			-	-	-	-	
	発泡剤(断熱材等)		断熱材はノンフロンで、ODP=0、GWP=1の断熱材を使用している。	5.0	0.50	-	-	
	冷媒			3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮			ライフサイクルCO2排出率=80%	3.7	0.33	-	-	3.7
2 地域環境への配慮				2.9	0.33	-	-	2.9
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.7	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
	汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
	交通負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
	廃棄物処理負荷抑制			2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮				3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	
1	騒音			3.0	1.00	-	-	
	振動			-	-	-	-	
	悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
	砂塵の抑制			-	-	-	-	
	日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制				3.7	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		広告物照明を行っていない。	4.0	0.70	-	-	
	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	